



特定非営利活動法人

日本ボランティアコーディネーター協会 2008年度 事業報告

2008年度は中期ビジョンの最終年にあたり、目標として掲げた次の3点を視野に入れて事業推進に取り組んだ。

- ① ボランティアコーディネーターの専門性認定の仕組みづくり
- ② あらゆる組織・場面におけるボランティアコーディネーションの質の向上
- ③ 基本指針を軸としたボランティアコーディネーションについての理解促進

とりわけ“ボランティアコーディネーターの専門性認定の仕組みづくり”については3月の通常総会において「ボランティアコーディネーション力検定(1-3級)」と「JVCA認定ボランティアコーディネーター」の2つのシステムを確立する方向で承認され、それ以降、具体的な内容の構築と2009年からのボランティアコーディネーション力3級検定開始に向けて準備を行ってきた。

重点に位置づけている4つの柱に関わるトピックを報告し、事業ごとにこの1年間を振り返る。

1. 多様な領域で活動するボランティアコーディネーターのネットワークを確立する

【トピック1:JVCCを研究協議重視に再編】

JVCC(全国集会)2009から[基礎・入門編]を切り離し、コーディネーターが実践を持ち寄り研究協議、情報交流できる場を中心に再編。

【トピック2:CoCoサロンづくりを応援】

会員交流の場“CoCoサロン”を開きたいと考える方のためにガイドブックを作成。JVCC2008の会場で「CoCoサロンの作り方説明会」も開催。

2. ボランティアコーディネーターの専門性の向上にむけて取り組む

【トピック1:検定・認定システム開始に向けて】

ボランティアコーディネーション力検定・認定の準備に取り組み、スタートラインになる[3級検定]を2009年の夏に実施する運びに。

【トピック2:ステップアップの学びの機会を】

会員対象に行ったニーズ調査から中堅・ベテランコーディネーターが、ステップアップできる学びの機会を求めていることが明らかに。次年度計画に反映。

3. ボランティアコーディネーターの専門職としての社会的認知度を高める

【トピック1:2級検定研修カリキュラムを検討】

ボランティアコーディネーション力2級検定の研修カリキュラム検討に着手。実務力を身につけたボランティアコーディネーターの層を厚くすることを狙う。

【トピック2:ホームページを充実】

ホームページをもっと見やすく、もっと使いやすくするためにデザインやコンテンツを再構築！
2009年1月からリニューアル公開中。

4. ボランティアコーディネーション機能を幅広く普及させる

【トピック1:基本指針を読む集まりを】

「ボランティアコーディネーター基本指針」をたたき台にコーディネーターが話し合う場づくりを促進。
CoCoサロンとちぎの協力でトライアルを実施。

【トピック2:市民にもコーディネーション力を】

ボランティアコーディネーター研修への講師派遣依頼に市民向けの講座が増加。ボランティアコーディネーション機能の普及に重点を置いて対応。

■ 1 事業の推進

(1) 全国ボランティアコーディネーター研究集会の開催

①「全国ボランティアコーディネーター研究集会 2008」(京都開催)の開催および評価

前年度と同様に、プログラムを「基礎・入門編」と「研究・実践編」の2つに分けて開催した。「基礎・入門編」は、ボランティアコーディネーションに関する基本的な知識や技術、考え方を学びたい新任担当者の人たち向けに、「研究・実践編」はボランティアコーディネーションに携わる人たちが現場で抱えるさまざまな課題について、解決あるいは改善のためにどうすればいいのかを学び合いながら力量を高めることをめざし開催した。

テーマ:「めざせ!ほんまもん 社会を変えるボランティアコーディネーション力」

期 日: 2008年2月29日～3月2日(金～日)

場 所: 龍谷大学

共 催: 龍谷大学

参加者: 371人 (A日程 基礎・入門編:174人/B日程 研究・実践編:197人)

分科会数: 34分科会

実行委員数: 45人

運営ボランティア: 31人

実行委員会開催状況

回	期 日	会 場	参加人数
第8回	1月27日(日)	ひと・まち交流館京都	24人
第9回	2月17日(日)	こどもみらい館	29人
第10回	3月29日(土)	京都市中京青少年活動センター	28人



▲道案内も大切なしごと

▼会場は京都の龍谷大学で



▶全体会の風景「ほんまもんとは?」

▼分科会では日頃の悩みや課題を出し合って・・・協議



②「全国ボランティアコーディネーター研究集会 2009」(会場:横浜)の企画・準備

・ウィリング横浜(横浜市社会福祉協議会運営)を開催会場として予定しているため、横浜市社会福祉協議会(ボランティアセンター)との共催で行うことを決定した。

・東京、神奈川を中心に関東圏のボランティアコーディネーターに呼びかけ実行委員会を立ち上げ、プログラム企画と運営準備を行った。

回	期日	会場	参加人数
準備会	5月25日(日)	東京ボランティア・市民活動センター	4人
第1回	6月28日(土)	日本財団	13人
第2回	7月21日(月・祝)	東京ボランティア・市民活動センター	13人
第3回	8月30日(土)	東京ボランティア・市民活動センター	14人
第4回	9月28日(日)	東京ボランティア・市民活動センター	11人
第5回	10月12日(日)	ウィリング横浜	16人
第6回	10月30日(木)	地球環境パートナーシッププラザ	15人
第7回	11月6日(木)	東京ボランティア・市民活動センター	15人
第8回	11月15日(土)	東京ボランティア・市民活動センター	16人
第9回	12月14日(日)	東京ボランティア・市民活動センター	20人

・JVCC2009のブログの開設

・「開催要項」「開催案内チラシ」の印刷

〔印刷部数〕 開催要項 4,000部 開催案内チラシ 15,000部

(2) 研修の開催

①ボランティアコーディネーターのための各種研修セミナーの開催

タイトル	期日・会場	講師	参加者
第34期ボランティアコーディネーター養成講座 ワカル! デキル! ツナガル! ボランティアコーディネーション 〈共催:大阪ボランティア協会〉	5月30日(金) 大阪NPOプラザ	筒井のり子 石井祐理子 海士 美雪 白井 恭子	36人
全国ボランティアコーディネーター研修会 【基礎・入門編】 〈共催:愛・地球博ボランティアセンター〉	7月18日(金) 愛知県女性総合センター(ウィルあいち)	筒井のり子 小原 宗一 後藤麻理子 鈴木 盈宏	89人
ボランティアコーディネーター基礎研修	7月25日(金) ハピネスケア四谷(東京)	後藤麻理子 小原 宗一 疋田 恵子	45人
ボランティア向き合うことの多いあなたのための ファシリテーション講座 〈共催:大阪ボランティア協会〉	7月27日(日) 大阪NPOプラザ	加留部貴行	19人
福祉施設ボランティアマネジメント研修 【基礎編】 〈共催:練馬ボランティア・市民活動センター〉	8月4日(月) 練馬ボランティア・市民活動センター	妻鹿ふみ子	17人

	(東京)		
ボランティア向き合うことの多いあなたのための ファシリテーション講座	8月24日(日) ちよだプラットフォーム スクウェア(東京)	加留部貴行	25人
ボランティアコーディネーター基礎研修	10月23日(木) ハピネスケア四谷 (東京)	後藤麻理子 小原 宗一	16人
ボランティアコーディネーター研修 ステップアップ編(4コース)	11月21日(金) 東京文化会館	小原 宗一 加留部貴行 後藤麻理子	延べ 52人
社会福祉施設向けボランティアコーディネーター 講座 「じっくり検証、ボランティア受け入れ実践事例」 〈共催:大阪ボランティア協会〉	12月16日(火) 大阪NPOプラザ	石井祐理子 南 多恵子 西村こころ	5人

▼名古屋で基礎的な研修会を開催。2009年度よりJVCC〔基礎・入門編〕をなくすことに伴い、〔基礎・入門編〕を対象者に参加いただくために全国的なPRを行った。



○分科会は〔中間支援組織〕〔福祉保健施設〕〔企業〕の3つ



▼ファシリテーション講座は2008年度で3年目。会員からの参加率が高く、ステップアップ的な要素の強い講座として定着してきた。今年はNPOや兼務の担当者などを意識し、対象を「ボランティアコーディネーター」から「ボランティアと向き合うことの多いあなた」に変更。

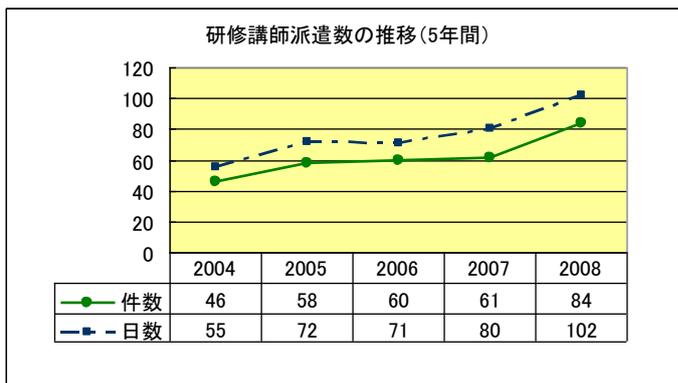


②講座等の企画支援と講師派遣

ボランティアコーディネーターの養成に関わる研修の講師依頼を受け、本会の理事・運営委員などを派遣した。2008年度の講師派遣数は、受理件数84件、研修日数は102日であった。

講師派遣研修においては、当会の「リーフレット」と「ボランティアコーディネーター基本指針」、「会員になりませんか(チラシ)」を配付した。また、対象に合わせて、発行図書のご案内、販売も行った。

さらに研修対象・テーマに応じてプログラムを提案し、テキストとして『社会福祉協議会ボランティアセンターのためのボランティアコーディネーターマニュアル』『ブックレット②ボランティアコーディネーター基本指針』を活用した。



【詳しくは資料：講師派遣一覧参照】

◀ 講師派遣の推移

依頼先は、都道府県・市社会福祉協議会からの依頼を中心に、地方自治体、大学、NPO、福祉施設など。市民対象のコーディネーター養成講座開催の相談も増加している。件数・日数ともに大幅に増加した。

(3) 調査・研究活動の推進

①「ボランティアコーディネーション力検定」システムの研究

・検定・認定システム化検討委員会を設置し、研修開発委員会との協働により、検定実施に向けての具体的な検討を行った。

〔主な検討内容〕

- 3級検定の研修カリキュラムの作成
- 検定規程案、3級開催要項の作成
- 検定試験委員会設置要綱の作成
- 3級検定の開催回数、共催条件などの検討
- 2級検定の研修カリキュラムの検討 など

・「3級検定」の研修プログラム、テキストを検討し、検定のトライアル(試行)研修を行うことにより2009年度3級検定実施にむけての準備を行った。

〔トライアル研修〕 8月9日～10日(土・日) 伊豆長岡「おおとり荘」 運営委員会合宿

講師：妻鹿ふみ子、早瀬 昇、筒井のり子

・検定・認定システム化検討委員会 委員名簿

○委員長

No	委員名	所 属
○ 1	筒井のり子	龍谷大学
2	妻鹿ふみ子	京都光華女子大学
3	長沼 豊	学習院大学
4	杉澤 経子	東京外国語大学多言語・多文化教育研究センター
5	唐木理恵子	練馬ボランティア・市民活動センター
6	後藤麻理子	日本ボランティアコーディネーター協会

・研修開発委員会 委員名簿

○委員長

No	委員名	所 属
○ 1	小原 宗一	北区社会福祉協議会
2	石井祐理子	京都光華女子大学
3	平野 幸子	明治学院大学社会学部附属研究所
4	竹田 純子	龍谷大学ボランティア・NPO活動センター

・検定・認定システム化検討委員会の開催

※参加人数はオブザーバーを含む

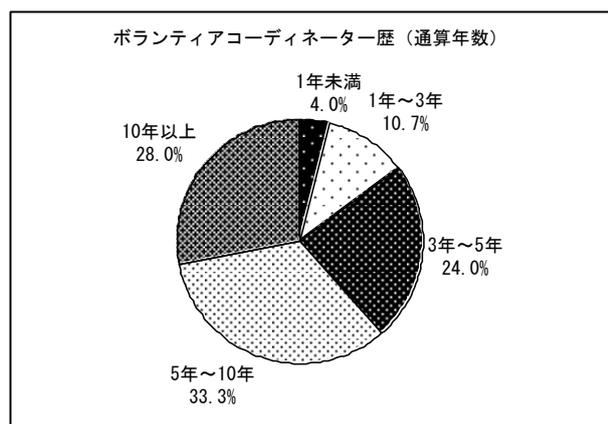
回	期 日	会 場	参加人数※
準備会	4月14日(月)	ひと・まち交流館 京都	4人
第1回	5月8日(木)	ひと・まち交流館 京都	7人
第2回	6月1日(日)	ひと・まち交流館 京都	8人
第3回	6月29日(日)	東京文化会館	8人
第4回	7月13日(日)	大阪NPOプラザ	10人
第5回	9月6日(土)	東京ボランティア・市民活動センター	8人
第6回	10月19日(日)	ちよだプラットフォームスクウェア	7人
第7回	11月9日(日)	愛知県社会福祉協議会	9人
第8回	11月22日(日)	生涯学習センターばるーん	7人

②『ボランティアコーディネーター白書(2007～2009)』の編集

編集委員会を設置して『ボランティアコーディネーター白書 2007～2009』の編集作業を行い、3月1日に大阪ボランティア協会から発行された。

③『会員ニーズ調査』の実施 (会員サービス委員会)

対象:正会員および準会員 343人 内容:業務実態、JVCA事業満足度・ニーズ
回答者数:111人(正会員95人、準会員16人) 回答率:32.6%



◀ 回答者の属性

回答者のうち、ボランティアコーディネーター歴5年～10年が33.3%、10年以上が28.0%。また、勤務形態としては常勤75.3%、非常勤20.8%、勤務体制では専任が46.1%、兼任が47.4%という結果になった。

所属団体の活動分野は、中間支援(ボランティアセンターなど)34.9%、社会福祉(地域)14.7%、学校関係9.2%、障害児・者8.3%、高齢者と保健・医療分野が同数で7.3%と続いた。

(4) 情報の収集及び提供活動の推進

① JVCAリーフレットの改訂

会員数等の記載を修正して増刷した。印刷部数:3,500部

② ホームページの充実

広報普及委員会を中心にホームページの見直しを行い、記事の掲載期間の基準作りや情報を集約するためのフォーマット作りに取り組んだ。また、デザインとコンテンツの変更も進め、2009年度よりリニューアル公開できるよう移行作業を行った。

③ ボランティアコーディネーションに関する情報収集

ボランティア活動、市民活動、NPO、ボランティアコーディネーションなどに関わる書籍を購入した。

④ 雑誌・新聞などへの記事掲載 など

- ・『シルバー産業新聞』2008年4月10日記事掲載「JVCC 適材適所でボランティア満足度向上」(筒井のり子・小原宗一)
- ・『できることからはじめよう PMJボランティアガイド』(フィリップモリスジャパン株式会社)※社員向け「気軽にボランティアコーディネーターに相談を！」(後藤麻理子)
- ・ボランティア・NPO・市民活動を応援する情報誌『ネットワーク』(東京ボランティア・市民活動センター)2008年11・12月号への投稿 ～ 特集「コミュニティの未来 市民と福祉は」「地域福祉コーディネーター」という新たな人材”(後藤麻理子)
- ・ロハスピーブルのための快適生活マガジン『ソコト』(木楽舎)2009.1(店頭発売は2008.12.6)への掲載
特集「エコライフ大予言2009」のキーワードのひとつ“ボランティア”の欄に、最近のボランティアの傾向と今後の予測、ボランティアコーディネーション力検定を紹介した。(後藤麻理子)
- ・チャリティプラットフォームが運営するNPO・NGOデータベース「Charity NAVI」に掲載
代表理事メッセージと団体の基礎情報を登録した。
- ・長寿・子育て・障害者基金情報誌『いきいきチャレンジ!』(独立行政法人福祉医療機構)2008冬 第44号 「長寿・子育て・障害者基金事業報告会」基調講演：これからの市民活動～“誰でも気軽に”のその先へ(妻鹿ふみ子)

(5) 会報および出版物の発行

① 会員向け広報紙 『Co★Co★Net』の発行(年3回)

- | | |
|------------------------------|------|
| 4月25日 第23号 | 500部 |
| 特集:JVCC2008京都～“ほんまもん”分科会探訪から | |
| 8月31日 第24号 | 500部 |
| 特集:環境ボランティアとコーディネーターを考える | |
| 12月25日 第25号 | 800部 |
| 特集:もっと聴かせて! 検定&認定システムのこと | |



② メールマガジン(会員向け)の発行(月1回)

めるまが Co★Co★Net 第32号～第43号の配信

③ ブックレット等の増刷

- ・社会福祉協議会ボランティアセンターのためのボランティアコーディネーターマニュアルの増刷(巻末資料のみ増補、修正) 400部
- ・ブックレット②「ボランティアコーディネーター基本指針」の増刷 500部

6) 相談への対応

事務局にEメール、電話、FAX、来所などで寄せられた相談、問い合わせは表のとおり。講師派遣についての問い合わせや調整が多く、次に研修についての問い合わせが続いた。

内 容	件数	内 容	件数
ボランティアコーディネーションに関すること	19	取 材	5
ボランティア活動に関すること	6	入会希望・問合せ	8
研修講師依頼・手続き・調整	69	会費納入	20
主催研修の日程／内容	43	事業協力・後援依頼	4
JVCCに関すること	31	関係(者)団体連絡先照会	7
図書購入・照会	19	その他	19
合 計			250

(7) ネットワーク推進事業

①CoCoサロン

会員サービスの一環としてCoCoサロン開催を支援し、会員相互の交流を深めた

・「ボランティアコーディネーターをつなぐCoCoサロンの作り方説明会」の開催

全国ボランティアコーディネーター研究集会2008の昼食休憩を活用して、CoCoサロンの開き方についての説明会を実施、活動中のサロン世話人からも報告やアドバイスがあった。

期 日	会 場	参加人数	企画メンバー
3月2日(日)	龍谷大学 食堂	24人	3人

・CoCoサロンの開催状況

20回のCoCoサロンが開催され、計268人が参加した。サロンのタイプ別では、地域型6回、テーマ型7回、スキルアップ型4回、世代型3回である。

<開催状況一覧>

日 程	地域/分野	会 場	参加	主な内容
1月14日 (月・祝)	福祉施設	明治学院大学社会学部 附属研究所	10人	練馬区地域生活支援センターのボランティア受入れや協働の事例をもとに報告と意見交換を行なった。
1月20日 (日)	東 海	COMB i 本陣	15人	専門性認定に関する会員ミーティングに併せて、設定し、認定や検定制度についての意見交換と交流を行った。
1月24日 (木)	埼 玉	はあとねっと輪っふる 埼玉トヨペット(株) 本社 ショールーム	21人	埼玉トヨペットが運営する活動拠点“はあとねっと輪っふる”を訪ね、「地域とつくるあったかショールーム」と題して、地域貢献活動実践とボランティアコーディネーションを学びあった。
2月2日 (土)	U-30	環境パートナーシップ オフィス(EPO)	19人	「That's my volunteer」をテーマにそれぞれのボランティア観やどのように仕事として関わっているかを共有した。

2月10日 (日)	スキル in世田谷	烏山区民センター	10人	ワークショップのプロを招いて、企画の重要性、タイムマネジメント、ワークのポイントなどを学んだ。
3月16日 (日)	長野	松本大学	6人	NPO法人代表を招いて、ファシリテーション・グラフィック、無文字絵本からまちづくり物語を作ろうなど、楽しい企画を通して学びあった。
3月19日 (水)	学校教育	東京ボランティア・市民活動センター	30人	「学校支援地域本部(仮称)事業」をテーマに、実際の取り組み事例を報告していただきながら、4月からはじまるこの事業についての謎を解き明かし課題出しを行った。
4月20日 (日)	福祉施設	明治学院大学社会学部附属研究所	8人	特別養護老人ホームにおけるボランティア受け入れ事例をもとに、意見交換を行った。
4月29日 (祝)	U-30 in 神戸	垂水勤労市民センター	11人	「熱い想いを押し付けるコーディネーター」「流れ作業的に対応するコーディネーター」の2つの事例をもとにコーディネーターとしての対応について協議し大切にすべきことは何かを共有した。
6月1日 (日)	スキル in 大阪	福島区民センター	12人	壁アンケートやファシリテーショングラフィックを実践的に学び、情報交流も行った。
6月15日 (日)	スキル in 世田谷	烏山区民センター	11人	ワークショップのプロを招いて、企画の重要性、タイムマネジメント、ワークのポイントなどを学んだ。
6月29日 (日)	福祉施設& 病院	東田端ふれあい館	11人	高齢者施設のボランティア受け入れ実践報告をいただき、受け入れのポイントや工夫などについて意見交換した。
7月12日 (土)	学校教育 in 横浜	かながわ県民センター	16人	2つのグループワークを通して、大学生をコーディネートするツボを考えた。
7月27日 (日)	千葉	蘇我勤労市民プラザ	5人	山崎富一前理事をゲストスピーカーに招き、相談業務を話題にしながら、参加者の交流を図った。
9月19日 (金)	埼玉	浦和コミュニティセンター	13人	社会に貢献する仕事=多様な働き方をテーマに、学生ボランティア支援からNPOへの就職支援を行っているゲストを招いて、活動やエピソードを紹介いただいた。
9月21日 (日)	スキル in 大阪	大阪NPOプラザ	19人	ファシリテーションの基本といえる「アイスブレイク」をテーマに、ゲストを招き、参加型でその極意をトコトン学んだ。

10月11日 (土)	U-30 in 大阪	大阪エイジングセンター	7人	現場でありそうな事例をもとに、ボランティアコーディネーターとしての「私」をみつめ直す機会として設け、意見交換を行った。
10月25日 (土)	福祉施設& 病院 in 関西	ひと・まち交流館京都	15人	平野幸子運営委員をゲストスピーカーに招き、ボランティア受入れについての困った経験などを出し合い、解決策を探った。
11月6日 (木)	とちぎ	栃木ボランティア・NPOセンター ぽぼら	8人	「基本指針を読む会」のトライアルを兼ねて、指針を読んだ感想やボランティア観、ボランティアコーディネーションについて自由に話し合った。
12月6日 (土)	学校教育	学習院大学	21人	施設のボランティアコーディネーターをゲストに招いて、語ろう！ボランティアを受け入れる施設職員のホンネをテーマにお話いただき、話し合った。

②国際ボランティアネットワークセミナー2008(日本開催)の企画調整

国際ボランティアネットワークセミナー2008(ユニバーサル財団主催)に企画協力し、日本における開催を支援した。ハワイからは11人のボランティアマネージャーやボランティア、研究者が来日し、日本のボランティア活動推進とコーディネーションの現状を学んだ。

・セミナープログラム

期 日	内 容	開催地
5月12日(月)	歓迎パーティ	東京:四谷
5月13日(火)	自己紹介・アイスブレイク ワークショップ) 日本&ハワイのボランティア活動	東京:四谷
5月14日(水)	視察)社会福祉法人至誠学園立川 視察)市民活動センターたちかわ	
5月15日(木)	セミナー1)災害時のボランティア活動と支援(日本の状況報告) セミナー2)ハワイにおけるボランティア活動の歴史や考え方、 ボランティア活動の現状とマネジメントの現状	東京:四谷
5月16日(金)	視察)大阪・今川地区 視察)大阪ボランティア協会	大阪
5月17日(土)	視察)高齢者福祉施設紫野 次年度に向けての企画会議	京都



③メールリストの活用

会員相互の情報交換、意見交流にメールリストが活用された。 330件

④国内外の関係団体との連携

下記の委員会に事務局職員を派遣した。

- ・アドバイザー相談事業選考委員会(かながわ県民活動サポートセンター)
- ・かながわコミュニティカレッジ運営検討委員会(神奈川県・NPO協働推進室)
- ・鎌倉市支えあう地域づくりプロジェクトチーム(鎌倉市健康福祉部)
- ・地域とコーディネーション研究会(東京都福祉人材センター研修室)
- ・環太平洋ボランティア・ネットワーキング企画会議(ユニバーサル財団)※
※インターナショナルボランティアネットワークセミナーの企画を行う会議

(8) アドボカシー活動の展開

①ボランティアコーディネーションの普及啓発

研修や講師派遣などで「ボランティアコーディネーター基本指針」を活用して、その普及啓発を行った。また、「基本指針」をテーマにした学習会のプログラム開発に取り組み、CoCoサロンとちぎの協力でトライアルの会を実施した。

②社会情勢に応じたアドボカシー活動の展開

厚生労働省が通知した「介護支援ボランティア」について、実施した自治体のその後の状況を地元の会員や関係者から伺った。

(9) ボランティアコーディネーターの実践を助けるツールの開発と活用

ボランティアコーディネーションに役立つグッズ&ツールを募集し、寄せられた品物や様式などをJ VCC2008の会場(JVCAルーム)にて展示した。参加者には便利と思われるものに投票できる企画を取り入れ、総会の場で発表した。また、ブログを開設し、実物を画像付きで紹介した。

■ 2 組織運営と財政強化

(1) 通常総会 2008年3月2日、JVCC2008の会場にて開催した。

場 所:龍谷大学(京都)

出席者:188人(出席者 60人、書面による表決および委任状提出者 128人)

内 容:審議事項)①2007年度事業報告・決算、②専門性認定・検定システムの創設、③2008年度事業計画・予算、④役員の変更

専門性認定・検定のシステムの提案を行ったため、グループディスカッションによる質問と意見出しの時間を確保し、多くの質問と要望が出された。質問についてはその場で筒井のり子代表理事が回答し、意見については今後の検討に反映することを約束した。

(2) 理事会

①第5期役員を選任

通常総会において理事15人、監事2人を選任し、4月1日をもって交代した。

○理事 15人

NO	氏名	所 属	地 域
1	小原 宗一	北区社会福祉協議会	東京都
2	海士 美雪	あしやNPOセンター	兵庫県
3	唐木理恵子	練馬ボランティア・市民活動センター	東京都
4	川瀬 和一	藤沢特別養護老人ホーム	神奈川県
5	栗木 梨衣	愛知県国際交流協会	愛知県
6	坂口 和隆	日本NPOセンター	東京都
7	柴田 英紀	鳥取県文化振興財団	鳥取県
8	鈴木 盈宏	トヨタボランティアセンター	愛知県
9	須藤美智子	地球環境パートナーシッププラザ	東京都
10	長 沼 豊	学習院大学	東京都
11	長谷部 治	神戸市長田区社会福祉協議会	兵庫県
12	早瀬 昇	大阪ボランティア協会	大阪府
13	疋田 恵子	杉並ボランティア・地域福祉推進センター	東京都
14	廣瀬 隆人	宇都宮大学	栃木県
15	妻鹿ふみ子	京都光華女子大学	京都府

○監事 2人

NO	氏名	所 属	地 域
1	赤塚 和俊	NPO会計税務専門家ネットワーク	福岡県
2	石川 到覚	大正大学	東京都

②理事会の開催

役員改選期にあたり、4月に役員交代を行った。4月の理事会においては、代表理事に妻鹿ふみ子、副代表理事に早瀬昇、唐木理恵子を互選した。また、事務局担当理事として坂口和隆を、会員サービス委員会担当として長谷部治を選任した。

回	日程	会場	出席	主な審議事項
第23回	2月3日 (日)	ハートピア 京都	13人	1)2007年度事業報告案および決算案について 2)新たなスタッフ人件費の確保 3)2008年度事業計画・予算案の修正 4)検定・認定システム公開提案資料 5)2008年度運営委員会の選考委員
第24回	4月20日 (日)	地球環境パート ナーシッププラザ	15人	1)正副代表理事の互選 2)担当理事制の導入 3)検定・認定システム化検討委員会の設置 4)中期ビジョンの評価と次期ビジョン策定
第25回	9月23日 (火・祝)	大阪ボランティア協会	15人	1)2008年度上半期事業執行状況について 2)ボランティアコーディネーション力検定規程案、3級検定実施要綱案 3)中期ビジョン2006～2008の評価と次期ビジョン作成スケジュール
第26回	12月13日 (土)	飯田橋セントラルプラザ	14人	1)2009年度事業計画案・予算案について 2)検定・認定システム実行プラン 3)ボランティアコーディネーション力検定試験委員会の設置について

③理事&運営委員合同ミーティング

理事ならびに運営委員の交代に伴い、“チームビルディング”を狙いとした合同ミーティングを実施し、お互いが知り合い、各自の活動や問題意識を交換し、ボランティアコーディネーションについての考え方を共有した。

日程	会場	出席	主な審議事項
4月20日(日)	地球環境パート ナーシッププラザ	25人	1)漢字一文字を使ったボランティアコーディネーターのイメージと自己紹介 2)ワールドカフェ方式を用いて「ボランティアコーディネーションで大切にしていること」についての意見交換と共有 3)会食

(3) 委員会

①2008年度運営委員の任命 (任期：2008.4～2009.3)

2008年度の運営委員公募に28人が応募され、運営委員選考委員会(理事会からの委嘱)における審査を経て、全員を代表理事が任命した。さらに、4月の運営委員会においては、運営委員長に加留部貴行、副運営委員長に唐木理恵子、石井祐理子を互選した。

○運営委員 28人

No.	氏名	地域	所属
1	岩井 俊宗	栃木	宇都宮市民活動サポートセンター
2	郡司 京子	栃木	I U H Wボランティアセンター
3	小原 宗一	東京	北区社会福祉協議会
4	唐木理恵子	東京	練馬ボランティア・市民活動センター
5	後藤麻理子	東京	日本ボランティアコーディネーター協会
6	佐藤 成臣	東京	アカデミー文京学習推進委員
7	高木 寛之	東京	大妻女子大学
8	疋田 恵子	東京	杉並ボランティア・地域福祉推進センター
9	平野 幸子	東京	明治学院大学社会学部附属研究所
10	熊谷 紀良	東京	東京ボランティア・市民活動センター
11	長沼 豊	東京	学習院大学
12	鈴木 裕子	東京	日本ボランティアコーディネーター協会
13	倉本 泰孝	神奈川	葉山町社会福祉協議会
14	小野 智明	長野	上田女子短期大学
15	山方 元	愛知	愛知県立蒲郡高等学校
16	赤澤 清孝	京都	ユースビジョン
17	中村 彰利	京都	京都YMCA
18	竹田 純子	京都	龍谷大学ボランティア・NPO活動センター
19	西村こころ	京都	京都福祉サービス協会
20	足立 陽子	京都	ユースビジョン
21	石井祐理子	京都	京都光華女子大学
22	筒井のり子	滋賀	龍谷大学
23	早 瀬 昇	大阪	大阪ボランティア協会
24	寺田 武志	大阪	会社員
25	白井 恭子	大阪	大阪ボランティア協会
26	垂井加寿恵	兵庫	神戸市中央区社会福祉協議会ボランティアセンター
27	橋口 文博	兵庫	コミュニティ・サポートセンター神戸
28	加留部貴行	福岡	九州大学（西部ガスから出向）

②運営委員会の開催

計画通り、運営委員会を開催した。

回	日程	会場	出席
第1回	1月12日(土)	赤煉瓦文化館(福岡)	9人
第2回	2月3日(日)	ハートピア京都	16人
第3回	3月20日(祝・木)	東京ボランティア・市民活動センター	15人
第4回	4月19日(土)	学習院大学(東京)	18人
第5回	5月31日(土)	京都商工会議所	21人
第6回	6月24日(日)	東京都北区東田端ふれあい館	17人
第7回	7月13日(日)	大阪NPOプラザ	16人
第8回	8月9日(土)	伊豆長岡(合宿と同日開催)	23人
第9回	9月23日(火・祝)	大阪NPOプラザ	19人
第10回	10月13日(月・祝)	東京文化会館	16人
第11回	11月8日(土)	COMB i 本陣(名古屋)	18人
第12回	12月7日(日)	東京ボランティア・市民活動センター	15人

③各種委員会の再編と運営

各種事業の進行管理を徹底し、事業推進と組織運営への会員参加を進めるため、理事、運営委員、会員の参加で以下の委員会を推進した。

<1～3月まで> 広報・組織財政合同委員会

回	日程	会場
第1回	2月3日(日)	ホテル京阪(京都)
第2回	3月20日(木・祝)	東京ボランティア・市民活動センター

<4月～>

i) 広報普及委員会(会員新規拡大、ホームページ充実、ボランティアコーディネーター基本指針の普及など、JVCAのPR活動全般)

委員 疋田恵子(委員長)、佐藤成臣、高木寛之、岩井俊宗、中村彰利、加留部貴行、橋口文博、熊谷紀良、鈴木裕子、山崎富一

回	日程	会場
第1回	4月19日(土)	ホテルMETS(東京)
第2回	5月31日(土)	京都商工会議所
第3回	6月29日(日)	北とびあ(東京)
第4回	8月30日(土)	東京ボランティア・市民活動センター
第5回	9月23日(火・祝)	すかいらーく(大阪)
第6回	10月13日(月・祝)	東京文化会館
第7回	11月8日(土)	名古屋駅ビル
第8回	12月7日(日)	東京ボランティア・市民活動センター

ii) 会員サービス委員会(会員のニーズ把握、会員継続のための支援、CoCoサロン開催支援、Co☆Co☆Net編集など、団体内部に向けた広報・調査・支援)

委員 長沼 豊(委員長)、白井恭子、足立陽子、山方 元、倉本泰孝、寺田武志、垂井加寿恵、西村こころ、郡司京子、長谷部治(担当理事)

回	日程	会場
第1回	5月31日(土)	WELL BEAN CAFÉ(京都)
第2回	6月29日(日)	ルノアール田端東店(東京)
第3回	7月13日(日)	すかいらーく(大阪)
第4回	9月23日(火・祝)	すかいらーく(大阪)
第5回	10月13日(月・祝)	東京文化会館
第6回	11月8日(土)	COMBi本陣(名古屋)
第7回	12月7日(日)	東京ボランティア・市民活動センター

iii) 研修開発委員会(専門委員会との協働⇒検定・認定システム化検討委員会参照)

委員 小原宗一(委員長)、石井祐理子、平野幸子、竹田純子

回	日程	会場	備考
第1回	6月1日(日)	ひと・まち交流館 京都	第2回システム化検討委員会
第2回	6月29日(日)	東京文化会館	第3回システム化検討委員会
第3回	7月13日(日)	大阪NPOプラザ	第4回システム化検討委員会
第4回	9月6日(土)	東京ボランティア・市民活動センター	第5回システム化検討委員会
第5回	10月19日(日)	ちよだプラットフォームスクウェア	第6回システム化検討委員会
第6回	11月9日(日)	愛知県社会福祉協議会	第7回システム化検討委員会
第7回	11月22日(日)	生涯学習センターばるーん	第8回システム化検討委員会

iv) JVCC企画委員会(全国ボランティアコーディネーター研究集会2009の企画、今後のあり方検討)

委員 唐木理恵子(委員長)、赤澤清孝、小野智明

回	日程	会場	備考
第1回	4月25日(日)	東京ボランティア・市民活動センター	JVCC2009 準備会を兼ねて
第2回	5月31日(土)	京都商工会議所	JVCC2009 に向けて

v) 財政委員会(中期的な財政シミュレーションと具体的な財源強化対策)

委員 早瀬 昇(委員長)、赤澤清孝

回	日程	会場	備考
第1回	8月9日(土)	ガスト(伊豆長岡店)	検定システム実施後の財政シミュレーション、事務局スタッフ強化対策
第2回	9月4日(木)	JVCA事務所	事務局との打ち合わせ

③プロジェクトチームの運営

委員会の他に、必要に応じて各種プロジェクトチームを構成し、事業の進行を図った。

i) 研修実施プロジェクトチーム

ボランティアコーディネーター基礎研修、ボランティアコーディネーター養成講座の企画ならびに当日の運営を担った。

メンバー:小原宗一、石井祐理子、竹田純子、大戸雅雄

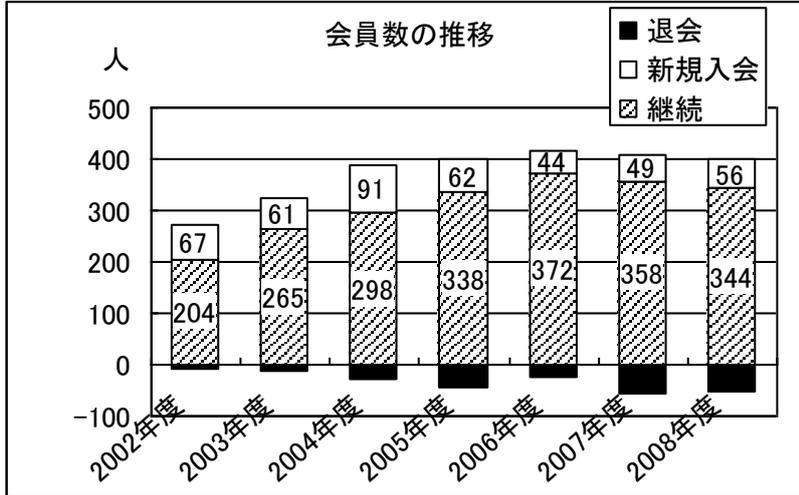
ii) グッズ&ツール・プロジェクトチーム ⇒ブログを継続した。

iii) 認定NPO法人制度研究チーム(仮称) ⇒財政委員会のタスクに吸収した。

(4) 会員拡大および会員サービスの充実

① 会員拡大に関する取り組み

12月末現在、会員総数 400 人。新入会者 56 人、年度の変わり目に会費未納者の自然退会の処理を行ったものを含めて退会者は 50 人であった。



2008 年度末の会員状況

正会員	300
準会員	48
賛助会員(個人)	39
賛助会員(団体)	13
合計	400

② 会員サービスの見直しとサービスの充実

会員のニーズを的確に把握するために、会員サービス委員会において『会員アンケート』を実施した。この結果を受け、2009 年後事業計画案策定において、会員がJVCAにコミットする機会の拡大とJVCAをより身近な存在として感じられるサービスの充実を検討した。

また、CoCoサロン開設を支援するために、ガイドブックを作成し、開設までの手順をはじめ、各サロンの活動状況などを紹介するツールとして活用した。

(5) 事務局運営の充実

① 事務局スタッフの増員

事業執行にかかる業務増を見込んで、年度の早い時期からのアルバイト確保を想定したが、募集範囲を限定した呼びかけに留めていたため、結果的に長期間人材確保できない状況であった。そこで 9 月にハローワーク等への求人公開にふみきり、応募者を面接した結果、1 名の採用を決定した。〔採用日〕 10 月 28 日付 雇用形態: 臨時職員・週 4 日

事務局員 後藤麻理子 事務局総括
 丹羽 史泰 経理、会員管理、図書販売管理
 鈴木 裕子 JVCC事務局、研修運営事務 ※10月から
 富田 行一 WEB管理 ※5月まで

② 事務局会議の開催

運営委員会開催前に実施していた運営委員長を交えての事務局会議を休止し、運営委員長と事務局長との話し合いにより運営委員会の議題および進行を調整した。

アルバイトスタッフ採用後においては、事務局長とアルバイトスタッフが連携をとり、事務局の運営を図った。

③事務局担当理事によるスーパービジョン

事務局業務の進捗管理とスタッフ支援のために、事務局担当理事が事務局長と面接し、スーパービジョンを行った。

〔実施日〕 5月 1日(木) 16時から17時

12月11日(木) 16時半から18時

(6) 財源の確保と財政運営

①会費収入の拡大 ……正会員・準会員ともに予算の数字を達成した。

②事業収益の拡大 ……講師派遣の件数が伸び、対応する講師の幅も徐々にではあるが広がっている。

研修事業費支出は、全体として当初予定していなかった全国的な基礎研修を急ぎょ組んだため、予算を超えたが、研修単位で見れば収支は黒字である。

③その他財源の拡大 ……助成金は該当するものがなかったため申請を行わなかった。

事業委託費(ユニバーサル財団)については、5月に開催した国際ショナルボランティアネットワークセミナーの企画および視察先等の調整、広報、参加者とりまとめ、など、運営にかかる経費として受けた。